

新型ロータによる 1.5ml マイクロチューブ を用いたウィルスの分離

分離用超遠心機 CP-WX シリーズ / P50A3 アングルロータ

ナノオーダーの微粒子の分離には $100,000 \times g$ 以上の遠心加速度が可能な超遠心機が使用されます。粒子のペレットリングにはコニカルタイプのチューブが有効であり、小形超遠心機では弊社“S55A2 形アングルロータ”にて 1.5ml マイクロチューブ(コニカル底)を $201,000 \times g$ で遠心分離することが可能です。

この度、1.5ml マイクロチューブ(コニカル底)が使用できる超遠心機用ロータ“P50A3”を開発しました。これにより、この 1.5ml マイクロチューブを一度に 24 本、 $250,000 \times g$ で遠心することが可能となりました。またコニカル底に加え、チューブ穴角度がスイングロータに近いため、更にペレットリングに有効な物となっています。ウィルス検査時の多検体処理に最適なロータです。

適用例

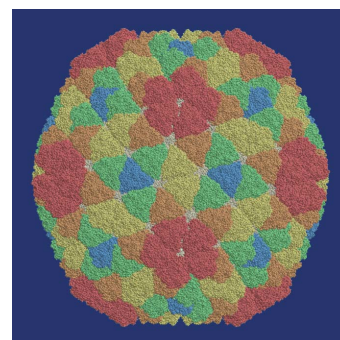
イネ萎縮ウィルス(RDV)の分離

遠心条件

遠心機: CP100WX 形分離用超遠心機
ロータ: P50A3 形アングルロータ(24 本架け)
遠心管: 専用 1.5ml マイクロチューブ
回転速度: 50,000rpm
最大遠心加速度: $250,000 \times g$
時間: 12 分
温度: 4°C
加速/減速: 「9」/「7」

イネ萎縮ウィルス(RDV)について

イネ萎縮ウィルス(Rice Dwarf Virus: RDV)はイネの主要病原ウィルス的一种で、稲の害虫であるツマグロヨコバイを介して感染します。感染するとイネに斑紋が生じ背丈が伸びなくなり収量が激減します。直径約 70nm、分子量 7000 万ダルトンの球状ウィルスで、2 本鎖 RNA をゲノムとして持つレオウィルス科に属するものです。



装 置



P50AT3 形アングルロータ



himac1.5ml マイクロチューブ

項 目	P50A3 形アングルロータ	S55A2 形アングルロータ
適用遠心機	分離用超遠心機 CP-GX シリーズ	小形超遠心機 CS-GX II シリーズ
最高回転速度	50,000 rpm	55,000 rpm
最大遠心加速度	250,000 xg	201,000 xg
チューブ本数	24 本	12 本
チューブ穴角度	50 度	45 度
チューブ実容量	1.3 ml	1.3 ml
ロータ材質	アルミ合金	アルミ合金

本資料に関するお問い合わせは日立工機(株)ライフサイエンス機器事業部のホームページ
(<https://ccs.hitachi-koki.co.jp/cgi-bin/himac/contactus/toiawase.cgi>) からお願いいたします。

【製造・販売・保守】

日立工機株式会社

日立遠心機お客様相談センター

0120-024125

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休業日除く)

<http://www.hitachi-koki.co.jp/himac/>

医療機器製造販売業許可08B3X00002

勝田工場 〒312-8502 茨城県ひたちなか市武田1060

首都圏地区 (甲信越含む)	東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目8-2 (イワオアネックスビル)	03-3226-7713
北海道地区	北海道札幌市中央区北三条西四丁目1-1 (日本生命札幌ビル)	011-232-7713
東北地区	宮城県仙台市若林区御町東三丁目3-36	022-288-0435
中部地区	愛知県名古屋市中区栄三丁目7-13 (コスモ栄ビル)	052-262-8221
関西地区 (中国・四国・京都含む)	大阪府大阪市北区梅田二丁目6-20 (スノークリスタルビル)	06-6344-4125
九州地区	福岡県福岡市東区松島四丁目8-5	092-622-4025